



創立 昭和28年1月8日

第2667回 Vol.55 No.23 2006年12月21日

TANABE



ROTARY

District 2640 田辺ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

2006-07年度
国際ロータリーテーマ

「率先しよう」
- LEAD THE WAY -
ウィリアムB・ボイド
RI会長

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 坪井 敏行
 幹事 三前 剛
 会報委員長 新井 康司
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「アンデスの乙女-ハセナ-」
撮影 寒川真典会員

司会者

坪井敏行会長

ソング

ジングルベル

ゲスト

ヴィジター

本日のプログラム 1/11

新年例会
『年頭挨拶』
坪井 敏行会長

次回のプログラム 1/18

会員卓話
榎本三郎会員

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総数	87名	16名	71名	
出席計算者	75名	10名	65名	86.67%
11月30日修正出席率				89.33%
11月平均出席率				90.00%

メイクアップ

12月14日 村上(白浜RC)

お祝い

会員誕生日	1/1	竹中
	1/6	岩本
	1/7	串、柴田
	1/8	三谷昌
配偶者誕生日	12/26	古谷保博(典子)
	1/4	岩淵夕美子(孝介)
	1/7	福本順子(義一)
結婚記念日	12/21	鎌塚
	1/10	岩淵

ニコニコ箱

年内最後の例会で卓話にあたります。がんばります！
 ……谷口
 谷口洋子さん、卓話楽しみにしています。頑張ってください。
 ……稲田静、
 新井、中松、木村頼、松本、木下、田中、岩淵、長井、竹本
 谷口洋子さん、卓話頑張ってください。……皆瀬、
 新藤、田上、山本忠、横田、寒川、植田英、瀬戸、竹中、大木
 谷口さん、卓話頑張ってください。会員への推薦者として私もドキドキしています。……村上
 今年7月より大変皆様にお世話になりました。来年も宜しくお願い致します。……坪井
 やっと半期終わりました。あと半分宜しく申し上げます。……三前剛

本年いろいろお世話になりました。来年も宜しくお
 願います。……笹野
 今年も終わりですね。来年もよろしく。……荷稻
 半年間、ガバナ補佐の仕事に御協力ありがとうございました。残り半年間よろしくお願います。……村上
 今年最後のライブでした。……中松
 会報、無事折り返し点までまいりました。後半年よろ
 しく。……新井
 米山メジャードナー表彰頂きました。ありがとうございました。……村上
 いつも会場の花を頂いています。ありがとうございました
 ……小幡
 先日、山本先生に大変お世話になりました。……笹野
 今年2回入院、玉置院長先生は勿論、串・小幡両先生
 にご厄介になり村上・坪井両会長を始め会員の皆様
 のお見舞いを頂きました。有難うございました。お
 かげで何とか年が越せそうです。来年もどうかよろ
 しく。……脇村孝
 仕事で神戸へ行き、帰りに電球の祭典を見に行き人
 の波に流されてきました。……渡部
 谷口洋子さん、卓話ガンバッテ下さい。来年もよろ
 しくお願います。……玉井

お知らせ

会長報告

- ・本日2006年最後の例会です。この半年、ご協力本
 年にありがとうございました。新年初例会は1月11日
 です。来年もよろしくお願います。
- ・田辺ロータリークラブに「第33回米山功労クラブ」感謝状が
 届いています。
- ・村上会員が「第10回米山功労者メジャードナー」に、広
 井会員が「第4回米山功労者メジャー」になられました。
 感謝状をお渡しします。

幹事報告

- ・年末年始の事務局のお休みは、12月28日より1月4日です。その間御用の方は幹事まで連絡をお願いします。
- ・1月11日の新年初例会は、例会順序を変更します。
- ・後期会費9万円を新年第1例会の1月11日より納入宜しくお願いします。
- ・JCニュース、近隣クラブ会報が届いておりますので回覧します。

プログラム

新会員卓話



『父の教え』

谷口洋子 会員

今年2月、田辺ロータリークラブに入会させていただき、あっという間に10ヶ月となりました。その間、

直接お話をしていない方のほうが多いので、今日は私の事を知っていただくと思い、生い立ち、家族の事、今の仕事をするようになったきっかけなどを話します。

私は韓国人で在日3世です。1世である祖父は、今でいう人材派遣の仕事をしていました。仕事のない韓国人や日本人を土木や建築の現場に派遣する仕事で、常にたくさんの方が訪ねてきていたことを憶えています。父はその流れからか、土木業をしていました。父の時代にも従業員の人や関係の人が多く出入りする家で、来客のない日はないという具合で小さい頃からいっしょにおじさん達にかこまれて育ちました。

実家は儒教の教えに基づいた、徹底した家長制度と目上の人を敬う典型的な韓国の家庭環境でした。父は絶対的な存在で、何ごとも全て父が中心、父の言う事にさからうなどは許されないことでした。また、私達（私は4人姉妹の次女）に対する躰は母ではなく、父でした。あいさつはもちろん、靴をそろえる、食事の時の箸の持ち方、姿勢、目上の人に対するおじぎの仕方、居間でテレビを見ている時も父がいる時は正座...、高校生の時の門限が6時で、クラブで遅くなると学校へ電話し「今、何時やと思とる！すぐ娘を帰せ！」という具合で、大会前などは体育の先生が毎日送ってくれるという条件でやっとクラブを続けられたのです。

姉妹の中でも要領が悪くおっちょこちょいの私は一番叱られていました。常に父の顔色をうかがい、威圧感にいつも緊張してびくびくして過していたので、私は家が大嫌いでした。というより、父が大嫌いでした。学校では活発な子どもでしたが、家では「私は何をやってもダメなどんぐさい人間だ」というコンプレックスの固まり。小学4年生の終わり頃、突然吃音になります。父の前では話せなくなりました。でもそんな私に父はそれまで以上に何かと話しかけ、電話がなると私に取らせるのです。たいてい仕事の電話で「父に替わります、お待ちください」という簡単な言葉の最初のひと言がなかなか出ず、父をますます苛つかせたのです。つらくて何度も泣きそうになりましたが、父は容赦なく話しかけと電話の対応を私に続けさせました。（吃音は中学校に入学する頃、知らないうちに治って

いました）

高校を卒業して京都のテキスタイルデザインの会社に就職。姉が京都の大学に行っており強い憧れがあったので、家から出れるなら絶対京都へ行こうと決めていたのです。コンプレックスを持ったままでしたが、その会社で当たり前の事を普通にしている、よく気がつくとか、仕事が早い、などものすごく誉めてくれました。私にしてみれば、本当に普通のことをしているだけなのになぜ、ここまでみんなに誉めてもらえるのか不思議でしたが、小さい頃から父に厳しくしつけられた事が社会に出ているんな場面で役立つのです。誉めてもらった事で自分に自信が持てるようになり、仕事が楽しくなりものすごく頑張りました。思えば、父によって自信を失くしコンプレックスの固まりだったのに、父によって自信を持てるようになり明るくなった事が不思議でした。そのことがわかった時、父に対して感謝の気持ちでいっぱいでした。

私が24歳の時、父は52歳で病死。父との距離が縮まってきた頃だったので、悲しくて悲しくてたまりませんでした。でも、悲しみと同時に解放されたという感覚もあったのを覚えています。父が亡くなったことで結婚適齢期という言葉からも解放され妹2人が先に結婚し、私は漠然と「30歳で結婚しよう」と思うようになりました。

27歳の時「紀州新報」という新聞社の立ち上げスタッフのアルバイトをし、やがて正社員となって営業部に配属。この時が「広告」との出会いです。営業の経験が全くない私は、とにかく飛び込みであちこち回りました。無視されても、軽くあしらわれても何回も通い、「また来たんかい、ネエちゃん」と言われながらやっと広告契約がもらえるという最後のつめの時、いつも「男の人にかわって」といわれました。こまめくるのに何回通ったか、何回悔しい思いをしたか、それなのに、なぜ「男の人に」といわれるのか...。女は頼りないと思われているのか、私が頼りないのか、信頼されるにはどうすればいいのか、いろんな事を考えていた時、教えてくれたのが自分が回っていたクライアントでした。この時、多くの人との出会いからたくさんの事を教わりました。

私の基本となる部分は父からの影響がもっとも大きいと感じています。中学生の時「この本を読め」と4、5冊の本を渡されました。「韓国と日本の歴史」について日本側からみた内容でした。読み終えると、次に「今度はこれを読め」と5冊の本。渡されたのは同じく「韓国と日本の歴史」でしたが韓国側からの内容でした。父は「偏った考え方は持つな。歴史でも何でも両方のことをしっかり把握して自分の考えを持って」と言いました。当時の私には理解しにくいことでしたが、今ではどんな場面でも通用する大きな言葉となって私の胸の中にあります。「言葉」はその使い方と受け取り方で自分を変えることもでき、また人をも変えることができるのです。父の存在は自分から自信を失くした原因でもありましたが、自信を取り戻せたのも父のおかげ、今こうして仕事をしていられるのも父の教えがあったからだと思います。

